

議案番号	議案名	概要
認定第13号	平成27年度津市工業用水道事業会計決算	
認定第14号	平成27年度津市下水道事業会計決算	
認定第15号	平成27年度津市駐車場事業会計決算	
認定第16号	平成27年度津市農業共済事業会計決算	
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	大西 美知代
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	中尾 俊一
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	加藤 春美

【賛成多数（一部反対）で可決・認定された議案】

議案番号	議案名	概要	反対議員
議案第116号	津市とことめの里一志の設置及び管理に関する条例の一部の改正について	一志温泉やすらぎの湯の経営改善を図るための、使用料の改正に伴う所要の改正	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、倉田寛次 山崎正行
			態度保留
			渡辺晃一
			《反対討論 市民の声を大切にする会 長谷川 正議員》現在、無料貸し出しタオル等のクリーニング代に年間約1550万円、新品のタオル等の補充に年間約200万円かかっており、とことめの里一志ができてから今までの約19年間で、約3億3250万円の余分な経費がかかっている。津市民28万2000人の方々の血税を一部の近隣住民のために、いつまでもただらと投入しているのはいかがなものか。今回の無料貸し出しタオル等の廃止により、1日につき約5万6000円の赤字が解消されることから、12月1日からではなく、議決日の翌日の10月1日から廃止すべきである。また、今回1万円の値上げをする年間会員券についても、即時に廃止すべきと考えることから反対する。
《反対討論 日本共産党津市議団 長谷川 幸子議員》一志温泉やすらぎの湯は、地域住民にとって憩いの場、安らぎの場であり、仕事で疲れた体を癒やす場として、またコミュニティセンターとして、楽しく集い、心と体の健康を保証する大切な施設である。現在1000名ほどの年会員は、経営上貴重な存在であるのに、今回の使用料の改正で、年会員券は1万円もの過大な上げ幅がある。1回の金額に割り戻すとわずかな金額とは言いが、購入は一括払いのため、負担は大きなものになる。また、値上げに当たってのサービス向上の要素も少ないことから反対する。			
《討論 津市民の会 渡辺 晃一議員》とことめの里一志の使用料については、いつくしみの杜のように、市税を納めている市民と、市民以外とで、差別化を図る必要があると考えることから、態度保留する。			
議案第120号	財産の購入について	救助工作車Ⅲ型1台の購入 1億4958万円	長谷川正
			《反対討論 市民の声を大切にする会 長谷川 正議員》応札業者が3者では少なすぎる。最低でも5者か6者は必要である。10者でも構わない。つまり、業者が少ないほど、業者間で仲良しこよしをする可能性が高くなることから反対する。
議案第121号	財産の購入について	消防ポンプ車2台の購入 3499万2000円	長谷川正
			《反対討論 市民の声を大切にする会 長谷川 正議員》議案第120号と同じ理由で反対する。
議案第124号	平成28年度津市一般会計補正予算（第4号）	基金管理事業、防災対策事業等の増等による 4億3550万9000円の増額補正等	反対議員
			長谷川正
			拒否
			岡村 武
《反対討論 市民の声を大切にする会 長谷川 正議員》ふるさと納税の返礼品に、津市の名産を使わずに、松阪牛を使うのはどうかと考える。一部の牛は、津市内でも飼育されているが、松阪という名前が付いている以上、京都津市の名前が出ていない。津市も全国津々浦々に知れわたるぐらゐの津市ブランドを作り、返礼品に使ってほしいと考えることから反対する。			
《討論 至誠会 岡村 武議員》1議案の中に11もの事業が含まれているにもかかわらず、賛成か反対かというのは、乱暴な議案の提出方法である。国や、日本全国の自治体においても、同じ方法をとっているし、予算議案を分割すれば確かに手間暇がかかるが、この経費論と、まともな審査ができるかどうかは別問題であると考えことから、賛成も反対もせず、拒否する。			